

各 位

上場会社名 株式会社 沖縄銀行
 代表者 取締役頭取 玉城 義昭
 (コード番号 8397)
 問合せ先責任者 取締役総合企画部長 山城 達彦
 (TEL 098-867-2141)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年5月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成30年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	経常収益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	1株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,100	4,400	2,900	120.88
今回修正予想(B)	26,650	4,880	2,920	121.68
増減額(B-A)	1,550	480	20	
増減率(%)	6.1	10.9	0.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	24,871	5,074	3,498	145.88

平成30年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

	経常収益	経常利益	中間純利益	1株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,800	3,800	2,700	112.54
今回修正予想(B)	19,590	4,200	2,570	107.10
増減額(B-A)	1,790	400	△130	
増減率(%)	10.0	10.5	△4.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成29年3月期第2四半期)	18,450	4,527	3,307	137.88

修正の理由

(1) 単体業績予想の修正理由

経常収益は、適正な有価証券ポートフォリオの構築に伴い入替売買を行った結果、有価証券売却益が増加したこと、並びに有価証券利息配当金及び償却債権取立益が増加したことを主因として当初予想を上回る見込みです。
 経常費用は、上記ポートフォリオの入替売買に伴い有価証券売却損が増加したこと、並びに与信費用が増加したことを主因として当初予想を上回る見込みです。
 上記の結果、経常利益は、当初予想を上回る見込みですが、当期純利益は、法人税等合計額の増加により当初予想を下回る見込みです。

(単位: 百万円)

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)
経常収益	17,800	19,590	1,790
うち有価証券利息配当金	2,300	2,640	340
うち有価証券売却益 (①)	1,000	1,700	700
うち償却債権取立益	30	270	240
経常費用	14,000	15,390	1,390
うち経費	11,040	10,820	△ 220
うち有価証券売却損 (②)	0	690	690
うち与信費用	240	1,180	940
経常利益	3,800	4,200	400
税引前中間純利益	3,800	4,170	370
法人税等合計	1,100	1,600	500
中間純利益	2,700	2,570	△ 130
有価証券関係損益 (①-②)	1,000	1,010	10

(2) 連結業績予想の修正理由
単体業績予想の修正によるものです。

なお、平成30年3月期通期の業績予想につきましては、11月9日に予定している第2四半期決算発表時にお知らせいたします。

(注)本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

以 上